



2021.6.5

No. 329

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物認可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050発行責任者 藤盛敏弘
center@rengo-hokkaido.gr.jp

第92回全道メーデー開催

「今こそ、分断から連帯へ。支え合い・助け合いと共生の社会の実現を」

第92回全道メーデーは、5月1日札幌市大通西6丁目広場で開催された。

今年のメーデーは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、構成産別・未加盟労組・市民団体の会場参加は求めず、また登壇者も最小限で式典を開催し、YouTubeLiveでの配信となった。

最初に杉山大会長が「2021春闘はコロナ禍の厳しい環境の中、各構成組織が粘り強い交渉によりベアをはじめ、働き方改革の変化に対応した手当や制度の創設など、人への投資につながる成果を勝ち得た組合がある」と述べ、さらに「闘争が続く未解決組合の解決促進はもとより、今こそ、この間コロナ禍の影響を受けて大きく痛んだ労働環境を再生し、助け合う社会の実現に向けた運動の先頭に立つ」と決意をこめて挨拶。



つぎに立憲民主党北海道から4月の衆議院北海道二区補選で当選を勝ち取った松木副代表が来賓挨拶に立ち「国は新型コロナを徹底

的に抑え込むための政策を拡充・新設するとともに雇用や生活、経営が厳しくなった人々に対して責任を持つべき」と訴え、また「衆議院総選挙に必ず勝利し国民のための政治を実現する」と全道の仲間とともに総選挙に挑む決意を述べた。



さらに、多くのメッセージ・祝電の中から北海道知事・札幌市長からのメッセージを披露。続いて「新型コロナに関する差別・誹謗・中傷を許さない」旨の新たな一文を加えたスローガン、「今こそ、分断から連帯へ。支え合い・助け合いと共生の社会の実現を」を結語とするメーデー宣言、「第49回衆議院選挙勝利に向けた特別決議」を提案・連合北海道HP上での確認を求めた。

最後に杉山大会長による力強い団結ガンバロー三唱により式典を終了した。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5577>

「取引の適正化」実現に向けた要請を実施 公取委道事務所と道経済産業局に対し

連合北海道は4月21日、公正取引委員会北海道事務所と北海道経済産業局に対し、下請法の周知・理解の徹底、法令違反の取り締まり強化、働き方改革に伴う下請け等中小事業者へのしわ寄せ防止、フリーランスとの取引に係る関係法令の適用関係や問題行為等事業者に対するガイドラインの周知や実効性の確保を求めて要請した。

北海道経産局では公正取引の他、新型コロナウイルス感染症等による経営悪化に伴う、安易な解雇や労働条件の切り下げ等、労働者が不利益な取り扱いとされないよう事業支援策や各種助成制度の一層の周知、業績悪化による取引停止、取引価格の切り下げを行わない等、下請け事業者の経営環境維持のための対策についても求めた。

◆公正取引委員会北海道事務所

要請書の提出に際して藤盛事務局長は、「4月から中小企業に同一労働同一賃金が適用された。分配構造の転換は春闘の大きな柱の一つとして取り組んでいる。公正な取引なくして分配構造の転換はなしえない。監督官庁の立場で対応をお願いしたい」と強く訴えた。



要請書を手交する藤盛事務局長(右)

山田組織労働局長が要請内容や現場実態を説明した後、北海道事務所の島袋所長は「公正取引委員会の重要な役割は独占禁止法や下請代金支払い遅延等防止法など所管法令の厳格な運用。コロナ禍で中小企業を取り巻く事業環境は厳しく、不正な取引等に関して重点施策で取り組んでいる。今後も厳正に対応すると共に、防止策を引き続き講じていく」と答えた。

藤盛事務局長は「労働組合があってチェック機能が働いているところでも問題が多い。悪しき常識を変えていくことが重要だ」と、監視体制と啓発活動の強化を重ねて要請した。

◆北海道経済産業局

経済産業局での要請に出席したUAゼンセン北海道支部の大磯次長は、フード連合と合同で毎年実施している「取引慣行に関する実態調査(回答件数4,097)」の結果概要を説明した。押しつけ販売や労務提供といった「優越的地位の濫用行為」を受けた組合員



職場実態を報告する
UAゼンセン北海道支部大磯次長

は26.9%、大規模小売業者による優越的地位の濫用行為を規定する「大規模小売業告示」について43.0%が「知らない」、取引慣行が改善しているかの問いでは59.4%が「変化は感じない」と職場の実態を報告し、「年々改善されているがまだまだ改善が必要だ」と訴えた。

対応した北海道経産局の辻産業部長は「法令遵守に向けて取り組んでいるが、コロナ禍で説明会が十分できなかった。今後は工夫して取り組みたい。消費税転嫁も違反があれば適切に対応したい」と述べた。また、事業主とフリーランスとの取引に関しては、「様々な実態が明らかとなり、ガイドラインを個人事業主に周知する方法に戸惑った。SNSでの周知が早かったのかもしれない。親事業主にもしっかりと徹底していきたい」と答えた。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5552>



北海道経済産業局へ要請

ほっかいどう若者応援プロジェクト 十勝

2021年5月13日／帯広畜産大学

帯広畜産大学では、一人暮らしで生活困窮している230名の学生に対し、食の支援を実施した。周知は4月19日から店内へのポスター掲示と生協ホームページで行い、翌20日に大学による全生徒メール一斉周知を行っていただいた。大学のメール送信直後から申込件数が一気に増え、同日20時過ぎに230名の定員に達した。

支援物資は、お米やレトルト食品などの基本セットに加え、企業様から提供いただいた「雪印メグミルク・北海道牛乳LL200ml」「木田製粉・パンケーキミックス」、さらにコープさっぽろ様からの支援物資セット(日持ちする食材や日用品)など、多くの協賛・寄付で品揃えができた。

支援を受けた学生は口々に「ありがとうございます!」「こんなにいただけるとは思っていなかった!」「袋の中に沢山の食品が入っていて嬉しいです」といった声が至るところで漏れ聞こえ、配布後に友達と物々交換やシェアしている光景も見受けられた。

帯広畜産大学生協の伊藤専務は、「袋詰め準備は学生にも手伝ってもらい結構な作業でしたが、配布後に受

け取った学生たちの喜ぶ顔を見ると準備疲れも少し癒されます。コロナ禍が続く中、若い学生を地域や社会で支えることは重要で、帯畜大生が元気に学生生活を過ごせるようこれからも見守っていききたい」と語っていた。

今回の学生支援事業にご協力いただいた皆様、後援いただいた帯広市・北海道及び大学関係者の皆様、本当にありがとうございました。また協賛・寄付いただいた企業・団体等の皆様に改めて感謝申し上げます。

トピックス

申込み時に行った学生アンケートでは、「困りごとは何ですか?」の問いに「仕送りやバイトが減り収入が減った」といった類の回答が最も多く、生活困窮を裏付ける結果が見られる。また、「遠隔に慣れない、講義スタイルに苦心している」等の回答も見られ、コロナ禍2年目を迎えてもなおハイブリッド型講義に不安や不満を持つ学生がいることも裏付けられるなど、コロナ禍における学業の特徴も垣間見えた。



準備作業



食品配布

ほっかいどう若者応援プロジェクト 釧路

2021年5月11～12日／釧路公立大学

札幌圏以外では最初となる「ほっかいどう若者応援プロジェクト釧路」の第1弾として、5月11、12日の両日「釧路公立大学」での食材支援を実施、予定数の250名分を配付することが出来た。

初日の11日には配布会場となった食堂前の受付に、開始時間の20分前から学生が並びはじめ5分ほど早く開始、引き渡し場所は3ヵ所用意し床面には目印を設置するなど、可能な限りの感染対策を施した中での実施となった。

釧路公立大学生協の工藤専務より、「コロナで生活に苦しむ学生に少しでも食材の支援が出来たことは大変うれ

しい。寄付を頂いた多くの企業、団体、個人に感謝いたします」とのコメントを頂いた。

今回の食材支援に向け、4月26日から釧路公立大生協の「ホームページ」「ツイッター」「店頭ポスター」を通じて事前申し込みを開始したところ、配布前日までに200名を超える反響があった。

また、申し込みの際にアンケートをお願いし、「今一番困っていることはなんですか?」に対し、寄せられた声の61.7%が「コロナの影響による生活苦」という結果となり、コロナ禍で困窮する学生が一層増えている現実を再認識する結果となった。

2日間の食材支援を終了し、学生からは、「奨学金が入るまで時間がかかるので本当に助かります」「お金に余裕のない学生は食費を削りがちです。とても素敵な企画ありがとうございます」「久しぶりにお腹いっぱい食べたいです!」など多くの感謝の言葉が寄せられた。

ほっかいどう若者応援プロジェクト鉦路は、引き続きコロナ禍の厳しい状況の中でも、ここ鉦路で安心して学び・生活ができるよう、食の支援を通じて若者・学生を応援する。

鉦路では6月に北海道教育大学鉦路校での開催を予定している。



たくさんの学生の皆さんが来場



くしろ若者応援プロジェクトの皆さん

70
70th Anniversary

北海道ろうきん 創立70周年記念キャンペーン

北海道ろうきん70年のご愛顧に感謝して、
記念のローン商品とキャンペーンをご用意いたしました。

くわしくは
コチラ

新規ご契約者様対象 取扱期間 / 2021年5月19日(金)～2021年12月31日(金)

創立70周年記念ローン

全期間固定金利型
住宅ローン

適用金利 年1.45% (ろうきん住宅ローン 住せつと500万の場合) / 年1.55%

団体信用生命保険料の上乗せ金利0!

創立70周年記念
変動金利
轟ローン
(マイカーローン)

適用金利 年1.30%～年2.20%

キャンペーン期間中にお申込の場合、轟ローンは一律基準金利より-0.10%、轟エコ・轟レディ・轟ヤングは一律基準金利より-0.05%!

WEB完結型	轟ローン	轟エコ	轟レディ	轟ヤング
保証料込	適用金利 年2.00%～年2.50%	適用金利 年1.90%	適用金利 年1.95%	適用金利 年1.95%
対面型	轟ローン	轟エコ	轟レディ	轟ヤング
保証料別途	適用金利 年1.30%～年2.20%	適用金利 年1.20%	適用金利 年1.25%	適用金利 年1.25%

70年の感謝を込めて

ご契約中のお客様対象 抽選で2,021名様に豪華賞品をプレゼント!

ありがとうキャンペーン ◆2021年12月31日(金)時点で、下記対象商品のうち、2項目以上ご契約いただいているお客様が対象。

対象商品	A 財形貯蓄	B エース預金
	C 定期預金	D 住宅ローン
	E 無担保ローン	F カードローン
	G 給与振込	H 年金振込
	I 投資信託	J iDeCo

抽選で当たる!

1等	70名様 UCギフトカード 30,000円分
2等	100名様 リンベル カタログギフト 11,000円相当
3等	1,851名様 UCギフトカード 2,000円分

【抽選プレゼントについて】●当選本数は、おひとり様1本となります。重複当選された場合は、上位の賞品を当選品とさせていただきます。●抽選は2022年1月に行い、当選された方には、2022年3月末までに当金庫にお届けのご住所宛に賞品を送付いたします。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。●2021年12月31日時点で該当商品、商品と解約されている場合は、抽選の対象とはなりません。●対象商品には条件がございます。詳しくはホームページをご確認ください。●キャンペーンの概要について、ご不明な点がございましたら(ろうきん)へお問い合わせください。

※この内容は2021年5月19日現在のものです。

「北海道ろうきん」は、道内で活動するNPO。ボランティア団体を応援しています。

北海道ろうきん
コールセンター 0120-5-109-26

●ご利用時間 / AM9:00～PM5:00 土・日・祝日、年末年始は休業します。

https://www.rokin-hokkaido.or.jp

北海道ろうきん 検索

6月の主な動き

- 1日(火) 10:00 / WEB
中央委員会
- 5日(土) 10:00 / 勤労文化会館
男女雇用機会均等法集会

- 7日(月) 15:00 / WEB
北海道ブロック地域協議会活動推進会議
- 8日(火) 13:30 / WEB
地方連合会事務局長会議
- 17日(木) 13:30 / WEB
中央執行委員会

イベントカレンダー

- 23日(水) 10:15 / WEB
第8回執行委員会
- 23日(水) 13:30 / WEB
第8回地協事務局長会議